



那賀町立相生小学校

# あいおい

令和5年度学校便り

NO.37

2024.3.8発行

発行責任者

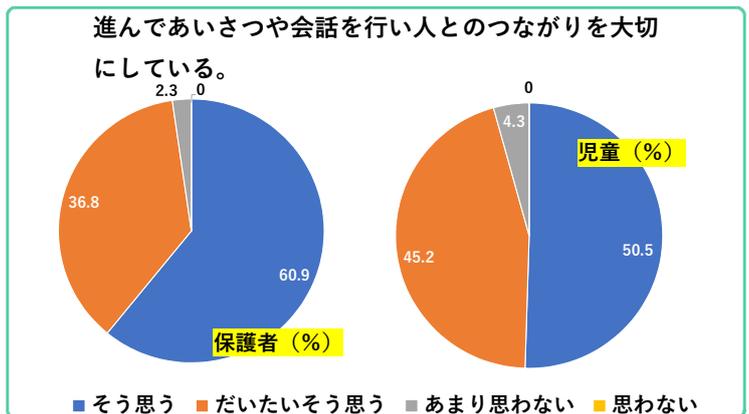
谷 多美子

## あいさつ日本一の学校になれましたか

雨水、啓蟄を過ぎて、暖かな陽ざしとなり、また、桜の木の幹に赤みが増し、美しい季節がそこまで来ていることを感じます。さて、相生小学校は「あいさつ日本一」を合い言葉に日々取り組んでいます。朝の鉛筆門には、進んで「あいさつ運動」に参加する児童の姿があります。来校者にも元気よくあいさつをしています。「日本一」という言葉にどのようなあいさつを思い浮かべるでしょうか。横断歩道で停車してくれた運転手に、きちんとお礼が伝えられる子。はつらつとしたあいさつで、今日も友達と過ごせる喜びを伝えられる子。たしかに、相生小学校には自慢のあいさつの名人がいます。また、学校にはあいさつについてめあてを掲示し取り組んでいました。学校評価アンケートでは、家庭でもあいさつや会話などを大切にしていることがわかりました。しかし、朝会では、「日本一」にはいたらなかったという児童のふりかえりが返ってきました。

気持ち<sup>きも</sup>が伝<sup>つた</sup>わるあいさつ  
心<sup>こころ</sup>が<sup>つ</sup>ながるあいさつ

- いつもよい姿勢<sup>しせい</sup>を心<sup>こころ</sup>がけて
- 体<sup>からだ</sup>や目<sup>め</sup>を相手<sup>あいて</sup>におけて
- 表<sup>ひょうじょう</sup>情<sup>じょう</sup>をくふうして
- 自分<sup>じぶん</sup>が「いちばん」輝<sup>かがや</sup>くあいさつを身<sup>み</sup>に付<sup>つ</sup>けましょう。



囲碁<sup>いご</sup>の中学生棋士<sup>きし</sup>、仲<sup>なか</sup>邑<sup>むら</sup>董<sup>すみれ</sup>三段(15)が、韓国棋院<sup>かんこくきいん</sup>へ移籍後の記者会見で、韓国で「女流ランキング2位」と目標を語っていたのが印象的でした。「日本一」という言葉に対するイメージは、十人十色と思います。「一番」にこだわらず、自分らしい「いちばん」(ベスト)を思い描き進んであいさつができる子どもを育てたいと思います。誰もが居心地のよい学校や地域・家庭となるよう、人と人をつなぐ「あいさつ」の輪を、まずは、私たち大人がモデルとなり広げていきたいと思っています。

## 4年生・5年生による新しい委員会活動がはじまりました

4・5年生児童の希望調査をもとに令和6年度の委員会活動の組織づくりが行われました。まずは今年度のメンバーでこの一年間のふりかえりを行いました。活動の成果や課題を共有し、次年度の活動をよりよくするための計画にいかします。その後、新しいメンバーで組織づくりなどを話し合いました。来週卒業する6年生は、新メンバーにアドバイスを与えたり、実際の活動をサポートしたり最後まで取り組んでくれます。

